

(対象期間:2017/12/4~12/8)

[株式市場]ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2017年12月8日)



[株式市場]

インドネシア株式市場は上昇しました。前週はMSCIインデックスのリバランスの影響を受け下落していましたが、週初に反発しました。その後も銀行、消費関連株などを中心に堅調となりました。一方で、財務省発表の今年度の税収達成率が低調だったことから、インフラ支出の減速懸念を背景に建設関連などは軟調となりました。

2017/11/30*	2017/12/8	変化率
5,952.14	6,030.96	+1.32%

*12月1日は祝日のため休場

[債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2017年12月8日)



[債券市場]

週の前半は、インドネシアの米ドル建てグローバル新発債への需要が好調だったことを受けて、国内債券市場でも買いが優勢となりました。しかし、週の後半にかけて売買が低調となる中、利益確定売りに押され、利回りは上昇(価格は下落)しました。

2017/11/30*	2017/12/8	変化幅
6.517	6.561	+0.044

*12月1日は祝日のため休場

[為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2017年12月8日)



[為替市場]

ルピアは狭い値幅での推移となりましたが、材料が乏しい中、実需の米ドル買いを背景に、対米ドルでは下落しました。一方、米国の税制改革の進展を背景に円安が進行し、円の対米ドルでの下落幅が大きかったため、ルピアは対円では上昇しました。

2017/12/1	2017/12/8	変化率
0.830	0.838	+0.96%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。